

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

短 歌

首筋に雨だれ一粒梅雨晴間

ポプラ並木の青空仰ぐ

●仙台市 菱沼俊行

夏の果て線香花火散り散りと

思い出残し芯は落ちゆく

●佐倉市 辰巳くにか

繩のれん集う仲間と酌む酒が

老いを生き抜く活力くるる

●印西市 山田 明

夏盛り小雀の群れ働けよ

仲間と共に落穂ひろえよ

●四日市市 河合 勲

夢に見た息子と二人飲める酒

生きてて良かった孫のお酌で

●綾部市 岩瀧憲一

釣りするや遠き日の夏なつかしき

想いにふける潮路の風よ

●愛媛県鬼北町 岸本繁義

俳 句

梅雨晴間バツとはじける野球帽

●むつ市 一戸啓二

炎暑なりうなぎのぼりの温度計

●宮古市 太田屋滋

初夏^{はつなつ}や風の足跡青田原

●神栖市 安澤宏介

雲間より眼下は照るる美^{ちゆ}らの風浪^{なみ}

●小山市 塚野 京

一輪に居間はなやぐや紅^{こう}薔薇^{そうび}

●本庄市 入 利雄

七夕や短冊に書く世の平和

●草加市 長谷部禎子

作業中服は空調もう立秋

●戸田市 稲田隆博

押し入れのひそんでおりぬ残暑かな

●戸田市 篠崎志津子

蝉しぐれ鳴かず飛ばずは酷暑かな

●東京都大田区 市川 恒

片陰に腹這いし犬動かざり

●武蔵村山市 原野晴光

にがり酒一人まどろむ宵の口

●塩尻市 大家協治

園休み庭の静寂ネムの花

●塩尻市 奥原光夫

猛暑中足湯につかり元氣だす

●塩尻市 小野正平

風鈴の音色和らぐ日暮れかな

●塩尻市 清澤美恵子

黒髪の艶めくあした苔の花

●塩尻市 町田まさ子

木下^{こした}闇猫^{やみ}の昼寝の道路沿い

●西尾市 村井ひろみ

アスリート夏の暁パリの空

●門真市 藤岡春男